

別紙様式

a ミッション

<校訓> 「挑戦と創造」
学び深く 志高く 未来を拓く

a ビジョン
<学校教育目標> 「未来を拓き、たくましく生きる子どもの育成」
【めざす 学校像】地域と共に歩む学校 人が育ち信頼される学校・・・「学校が好き」「地域が好き」
【めざす子ども像】夢や志をもち、自ら挑戦する子ども・・・「挨拶する子・挑戦する子・たくましい子」
【めざす教職員像】自らを磨く教職員・・・「確かな授業力」「新たな事に挑戦・創造」「協働」
【めざす 授業像】自ら学ぶ・学びを広げる・・・「わくわく」「わかった」「もっとやりたい」

(子ども達に育てたい資質・能力)

「自発性」
「コミュニケーション能力」

世羅町立せらひがし小学校

評価計画						自己評価					学校関係者評価			改善計画	
	b 中期経営目標 (3年目/3年計画)	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
						g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上	【資質・能力】 一人一人の力を伸ばし、確かな学力をつける。	・授業で子どもを育て、個の力を伸ばし、学力を高める。	・算数科を中心にICTを活用した授業改善を行う。 ①コミュニケーション能力を高める協同的な学びのある授業 ②自発性を高める個別最適な学びのある授業	・ICTを活用した授業改善を行っている教員の割合 ・「考えを伝えあって学習することができた」「自分から進んで課題に取り組むことができた」と肯定的に評価している児童の割合	100% 90%										
			・ICTを活用した練習問題やドリル学習等を行い、基礎学力の定着を図る。	・算数科の単元末テストにおいて標準得点を超える児童の割合 ・標準学力テストにおいて評定2（できる）以上の児童の割合	70% 80%										
豊かな心の育成	【資質・能力】 自分の良さに気づき、新たな目標に挑戦する児童を育てる。	・自他を大切にする行動・心磨きができる児童を育てる。	・価値語モデルを用いて、GO5せらひがしっ子の推進をする。 (①自分から元気よく挨拶をしよう。 ②ろうかは右側を静かに歩こう。 ③トイレのスリッパをそろえよう。 ④5分前行動・ベル着をしよう。 ⑤自分や人のよいところやがんばっているところを見つけよう。)	・GO5せらひがしっ子の児童アンケートで肯定的に評価している児童の割合	85%										
健やかな体の育成	【資質・能力】 課題意識を持って、健康な体を育成する。	・自ら課題意識を持ち、走力を鍛える。	・朝会や体育の授業等で、走力向上の取組を行う。(各学年で月一回の計測を行い、目標タイムを把握して取り組む。)	・「50m走」の数値が県平均を超える児童の割合	70%										
		・基本的生活習慣を定着させる。	・月1回の「生活見つめなおし週間」の取組を推進する。 ・生活見つめ直しの全項目で満点の児童には賞状を発行する。	・月1回の生活見つめ直し週間で、「寝る前にメディアにふれない。※1～3年20時半まで、4～6年21時まで」5点以上の児童の割合（5点満点）	70%										
		・危機管理能力の育成を図る	・一学期は不審者、二学期は地震、三学期は火災の避難訓練を行う。 ・児童一人一人の危機管理能力を高めるため、年1回は授業中以外の時間帯に避難訓練を行う。	・学期に1回避難訓練を実施する。	100%										
			・自分の暮らすそれぞれ地域で児童・保護者・地域の方々と地域防災を行う。	・年に1回地域防災を実施する。	100%										
特色のある学校	地域の力を活用した学びを推進し、信頼される学校を創造する	・CSを生かし、学校と地域とがwinwinの関係性をもった継続性のある取組の充実を図る。	・地域と連携・協働し、学校・家庭・地域がつながるように、教育活動を計画・実施する。	・地域の連携・協働する教育活動を年間30回以上行う。	100%										
			・地域との連携を図り、児童が地域行事へ積極的に参加するように、呼びかけを行う。	・地域行事に年4回以上参加する児童の割合	80%										

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100
D：（できていない）<60

【学校関係者評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。
ハ：わからない。